

「県南地域感染症情報」に関する御意見、御質問等はFAXまたはメールでお願いします。

県南保健所生活衛生部医療薬事課

FAX0248-23-1252 メールアドレス kansen\_kennan@pref.fukushima.lg.jp

## 夏季は腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう！！

例年、夏～初秋にかけて腸管出血性大腸菌（O157等）感染症の発生報告が多くなっています。県南地域では、令和元年33週（8月12日～8月18日）までに、6件の報告がみられました。感染予防のため手洗いを励行するとともに、食材を十分に加熱しましょう。また、下痢などの症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

- 原因 : O157、O26、O111などベロ毒素を産生する大腸菌。
- 感染源 : 食物、水、患者の糞便など。
- 潜伏期間 : 2～5日
- 症状 : 下痢、発熱、腹痛、血便など。  
合併症として、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症をおこすことがあります。

成人では、感染しても無症状だったり、軽い下痢で終わることが少なくありません。しかし、その場合でも便には菌が混じって排泄されていますので、家族に感染を拡げないように十分な注意が必要です。

### ○予防対策

- ①手指の清潔—手洗いの励行。  
乳幼児の調乳前やおむつ交換後は、特に手洗いを十分に行いましょう。
- ②食品等の衛生的な取り扱い—食材を十分に洗い、中心部まで十分に加熱（75℃で1分間以上）してから食べましょう。



☆調理後はできるだけ早く食べましょう。

- ・調理器具（まな板、包丁、布巾）は、その都度洗剤で洗い、必要に応じて熱湯や消毒剤（消毒用アルコール、0.02%次亜塩素酸ナトリウム）で消毒しましょう。
- ・塩素系漂白剤も次亜塩素酸ナトリウムと同様な効果が期待できます。

厚生労働省ホームページ

腸管出血性大腸菌Q&A

<http://www1.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>

1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の皆様

注意: 風しんの感染を拡大させる可能性があります

風しんから、あなた自身と周りの人をまもるために風しんに対する抵抗力を確認・獲得しましょう。1962(昭和37)年4月2日～1979(昭和54)年4月1日生まれの男性の方は、風しんの抗体検査及び予防接種が原則無料となります。

問い合わせ先: お住まいの市町村